

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

## 事業名 【新】難病等医療費助成システム構築事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111 (内3321)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,991 千円 (前年度予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

| 区 分 | 事業費   | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |       | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 0     | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 要求額 | 6,991 | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 6,991      |
| 決定額 | 6,991 | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 6,991      |

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

現行の難病等医療費助成システムが利用している第2期システム共通基盤(情報システム課所管の全システムが共同で利用するICT基盤)の運用期間は、令和6年3月31日までとなっており、令和5年度中に第3期システム共通基盤へ移行する。

システム共通基盤の移行に伴い、難病等医療費助成システムの運用を継続するためには、令和5年度中に第3期システム共通基盤上に構築が必要となる。

### (2) 事業内容

難病等医療費助成システム構築業務の委託

《委託内容》

- ・システム構築
- ・ソフトウェアバージョンアップ
- ・システム動作確認
- ・データ移行
- ・税情報のマイナンバー連携

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

有

(現行システム共通基盤を利用している他業務システムの移行)

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額    | 事業内容の詳細             |
|------|-------|---------------------|
| 委託料  | 6,991 | 難病等医療費助成システム構築業務の委託 |
| 合計   | 6,991 |                     |

決定額の考え方

|  |
|--|
|  |
|--|

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 国・他県の状況

共通基盤の第2期システムから第3期システムへの移行は、全庁的に行われる。

(主管課：情報システム課)

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

県

(委託先：現行システム保守委託事業者)

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和5年度中に、難病等医療費助成システムを第3期システム共通基盤上に構築し、令和6年度から引き続き約15,000人の受給者情報の適切な管理を行うことができる環境を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | R3年度<br>実績 | R4年度<br>目標 | R5年度<br>目標 | 終期目標<br>(R5) | 達成率 |
|-----|-------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| ①   |       |            |            |            |              |     |
| ②   |       |            |            |            |              |     |

### ○指標を設定することができない場合の理由

システム構築業務を数値化できないため。

### （これまでの取組内容と成果）

|       |   |
|-------|---|
| 令和2年度 | <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>                      |
| 令和3年度 | <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>                      |
| 令和4年度 | <p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項  
特になし

### (次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

難病等医療費助成システムにおいて、各申請の処理をして、約15,000人の受給者情報を適正に管理していく必要がある。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせる理由  
や期待する効果 など

【〇〇課】